資料８－１　（東北・北海道地区）　　全通研第2回理事会資料

令和2年度東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会　活動報告

福島県立郡山萌世高等学校　校長　矢森　健一

１　加盟校と現状

（１）北海道

①公立（北海道有朋）

８月までスクーリング中止、放送視聴によるスクーリング、在宅定期試験の実施

②私立（クラーク国際、星槎国際、小樽双葉、北海道芸術）

休校中はZOOMによるオンライン授業、再開後も不安をかかえる生徒には授業の配信

（２）青森

①公立（北斗、尾上総合、八戸中央）

５月上旬まで休校、大きな影響はなし

（３）岩手

①公立（杜陵、宮古）、②私立（一関学院、盛岡中央）

５月上旬まで休校、大きな影響はなし

（４）宮城

①公立（美田園）

６月まで休校、放送視聴を積極活用、eラーニングを活用した課題による時数確保

②私立（仙台育英、仙台白百合）

６月まで休校、休業中は分散登校やネットを活用したスクーリング

（５）秋田

①公立（秋田明徳館）

５月初旬まで休校、スクーリングができなかった分を集中スクーリングへ。

（６）山形

①公立（鶴岡南、霞城学園）

５月中旬まで休校、スクーリングの組み直し。

②私立（和順館）

５月中旬まで休校、レポート提出期間の延長。

（７）福島

①公立（郡山萌世）

５月いっぱい休校、放送視聴の積極活用、予備日の活用、90分3コマ授業を60分4コマ授業へ

②私立（尚志）

５月いっぱい休校、ネットを活用した課題による時数確保

２　総会・役員会・交流会、研究会活動

５月予定だった研究協議会は中止、書面にて決議。１０月の地区総会・研究協議会は６月の全通研大会との位置づけだったが中止。１２月の副校長・教頭研究協議会も中止となったため、今年度の研究会活動はすべて実施できず。

３　生徒対象の各種行事

ほとんどの地区で、各種行事は中止、規模縮小となった。

４　新規加盟・退会について

なし

５　その他

青森県では従来の後期入試制度(10月入学)に、令和３年度より北斗高校以外の公立通信制２校も加わることとなった。